

# ステンレス支える製紙

## 周南紙業が40周年

周南市野村南町の日 迎えた。旧日新製鋼周 鉄ステンレス山口製造 南製鋼所の時代から使 所内に工場と本社があ 用済み金属合紙を回収 り、ロール状に巻かれた して金属合紙に再生 ステンレスの間にはさ し、ステンレスの生産・ んで製品の表面を守る 出荷を支援してきた。 金属合紙を製造してい 旧日新製鋼の合理化

紙。使用済み金属合紙 を再生する工場設置は 全国で初めてで、現在 も同社だけという独自 の事業。製造工程は溶 かし、抄(す)きあげ て、乾かす。構内で回 取された使用済み金属 合紙に水と薬品を混ぜ て溶解し、この液状の紙 の原料をすきあげて乾 燥させ、巻き取る。 和紙すきと同じ原理 だが、すべて機械化さ れていて24時間操業。 月産は最大で350 ト。1平方メートルの重さが 会社は元氣だ。



安田社長



工場



金属合紙の製造 (周南紙業提供)

35℃から100℃まで 厚さの違う紙を製造で きる。色も白や茶色か ある。日鉄ステンレスだ けでなく同業の他社向 けにも出荷している。

従業員は28人。安定 供給をベースに収益を 確保。社員が幸せな会 社にしていきたいことを目 標に掲げ、自己健康管 理、現場の安全・衛生・ 防災と品質改善・安定 化を目指す。

安田社長(59)は日鉄 ステンレス出身で就任 して2年目。「平均年齢 が50歳を超えている。 まず社員全員の健康が 大事」と話す。福利厚生 にも力を入れ、SDG s宣言も目指し、ステ ンレス工場の中の製紙